

心臓カテーテル時の鎮静を目的とした ミダゾラムの使用について

実施内容	心臓カテーテルの施行時に、鎮静を目的としてミダゾラムを静脈内投与する。
対象患者	人工呼吸管理を行わない以下に該当する患者 ・心臓カテーテル検査・治療時に鎮静が必要と判断された患者
承認日	2026年7月8日（承認外医薬品使用評価委員会 承認）
実施期間	承認日以降、継続的に実施する
目的・概要	ミダゾラムはベンゾジアゼピン系鎮静薬であり、抗不安作用、催眠作用、筋弛緩作用を有する。臨床現場においては、重度の苦痛や不穏状態などに対し、他の薬剤では十分な症状緩和が得られない場合がある。そのような場合に、患者の苦痛軽減を目的として、医学的必要性に基づき本適応外使用を実施する。
予想される 不利益と対策	【予想される不利益】 ・呼吸抑制、低換気 ・過鎮静による意識レベル低下 ・血圧低下 ・せん妄の悪化 ・長時間使用による蓄積、遷延性鎮静 【対策】 ・呼吸状態（呼吸数、SpO₂）の継続的観察 ・血圧、心拍数の定期的モニタリング ・必要時の酸素投与および気道確保体制の準備 ・長時間投与時は蓄積を考慮した減量・中止判断 ・異常時は速やかに投与中止および適切な対応を実施
■ 問い合わせ先	イムス葛飾ハートセンター TEL：03-3694-8100（代表） （受付時間：平日 9:00～17:00）